

第84回 全日本自転車競技選手権大会ロードレース
 第19回 全日本選手権個人タイムトライアルロードレース大会
 出場主要選手一覧(VER.2)

全日本選手権は、21日のタイムトライアル、27-28日の個人ロードとともに、個人でのレースにはなりますが、優勝の可能性が高いエリートカテゴリーの上位選手たちは、チームに所属しており、特に個人ロードの方は、チーム単位で戦術を展開するレースになりそうです。

観戦をより楽しいものにするために、男子はUCI(*1)のコンチネンタルチーム以上(*2)をご紹介します、所属するエリートカテゴリー/U23/ジュニアの選手を
 女子はチーム単位ではなく、主要選手ならびに、人気の高かった選手を中心に参戦する選手の情報をまとめました。

どんな選手なのか、イメージを持ちやすくするために、一般のファンの皆さんから、それぞれの選手の魅力を語ってもらいその言葉を盛り込んであります。

(一部、チームスタッフに関しても、応援コメントが寄せられたスタッフは情報を盛り込んであります。)

タイムトライアル大会の開催の前に、まずはリスト第一弾を公開します。
 まだ整理しきれていない情報もあり、体裁もシンプルで恐縮ですが、観戦の資料にお使いください。

*エリートで太字になっているのはインコのオリビアちゃんが優勝予想をした際に候補になった選手です。

用語について

<p>*1 UCI=世界自転車競技連合 UCIレースというのはこの競技連合の認可レースで、上位選手に「UCIポイント」が付与される。このポイントによる国別のランキングで、五輪などの出場枠が決まる。</p>	<p>*2 UCIに登録するチームには、上位から ワールドチーム プロコンチネンタルチーム コンチネンタルチーム の3種があり、日本で「プロチーム」と呼ばれているチームは概ね「コンチネンタルチーム」である。 以下紹介していくチームは日本国籍の「コンチネンタルチーム」で、NIPPOのみがイタリア籍のプロコンチネンタルチーム。</p>
<p>現在、日本人選手が参戦しているレースの多くは2種類に分類される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UCI認定の国際レース →高い順から、HC、1、2とレースにもクラス分けがある。 ジャパンカップは国内唯一のHCクラスの上位レース ほかに、ツアーオブジャパン、ツールド熊野、ツールド北海道 ジャパンカップ、ツールドおきなわがある。 ・国内リーグ Jプロツアーのリーグ戦 →年間リーダーををかけて戦う 	<p>選手のタイプとしては</p> <ul style="list-style-type: none"> 登りに優れた選手＝クライマー ゴール勝負に優れた選手＝スプリンター 万能にバランスよくこなす選手＝オールラウンダー アップダウンに強く、アタック力に優れた選手＝パンチャー ルーラー＝平地を一定ペースで走るのに優れた選手 <p>となる。</p>

Special Thanks

Hideaki TAKAGI, Sonoko TANAKA, Makoto AYANO, Cyclowired.jp
 Chisato ASHIDA, Takayuki KAKINOKI and KUROKAWA Kantoku!!

宇都宮ブリッツェン
宇都宮市の地域密着型チーム。
昨年はJプロツアーチーム総合優勝。



増田成幸
1983.10.23生まれ
オールラウンダー
'14ツールドおきなわ優勝
'13シーズンは
イタリア籍の
世界のトップチーム
「キャンデール」
にも所属



何度も絶望的なケガに見舞われ、そのたびに奇跡的な回復をし復帰してきたため「フェニックス」の異名も持つ。

圧倒的な人気を誇る(人気は仙台出身、栃木の星でもあり)が高い。最有力候補の一人。

ファンの声
「不死鳥の勝つ姿が見たい！男前！」
「ストイックで真面目。賢い。期待に応えようという責任感！」
「プロポーションもよく、性格もよく、仁義に厚くて、強い。」
「強いのにびっくりするくらい謙虚で偉ぶらない。飾らない。」

タイムトライアル準優勝

那須どうぶつ王国 インコのオリビアによる優勝予想選手

鈴木真理(すずきしんり)
1974.12.24生まれ
パンチャー
全日本選手権優勝経験あり。
スプリント力も高い。
ファンの声
「驚くほどの嗅覚で必ず勝負争いに絡む。攻める姿が絵になる。」
「『練乳王子』と呼ばれる甘党でお茶目なキャラとレース中の速さ、力強さとのギャップがたまらない！」

青柳憲輝(あおやなぎかずき)
1989.2.21生まれ
オールラウンダー
2012 国体2位
宇都宮出身。チェロが得意。
あだ名は「チェロ柳」



阿部嵩之(あべたかゆき)
1985.6.12生まれ
逃げのスペシャリスト
2014年湾岸クリテ優勝、
美浜クリテ優勝。
タイムトライアル出場
あだ名は「アベタカ」。

重要なレースでも逃げを決め、恵まれた身体で見せる力強い走りにファンも多い。

ファンの声
「アグレッシブな走り！
逃げていているときの表情や、ギリシャ彫刻のような筋肉に惹かれ走り、独特なブログでの語り口
「アビールのある走りが目立って
「モデルばりに手足が長くて、男臭さがかっこいい！」
「不器用そうに、くしゃっと笑う姿がかわいい」

指の骨折をおしての出場。



鈴木讓(すずきゆずる)
1985.11.6生まれ
オールラウンダー
'14東日本ロードクラシック優勝
'15ツールド熊野個人総合6位
ファンの声
「自分の世界を持っている」

大久保陣(おおくぼじん)
1988.10.8生まれ
スプリンター
2014白浜クリテ優勝
ファンの声
「未知数の可能性がある。」
「ダイエットして本気で臨んでいるというから、今季期待！」



堀孝明(ほりたかあき)
1992.7.1生まれ
クライマー

城田大和(しろたやまと)
1994.11.25生まれ
クライマー[U23]



選手の「ドラマ」発信による販売力の強化(FⅡレースの商品性向上の例)

- ◇例えば下位クラスの選手によるFⅡレースは、一般に商品性が低く、売上につながらないとされています。
- ◇しかしながら、FⅡレースを戦う選手も、頂点を目指して日々弛まぬ努力をしていますし、「ドラマ」があります。そのような選手の「ドラマ」が発信されておらず、競輪ファンにも十分に伝えきれていません。
- ◇FⅡレースであっても、例えば、「特別昇級」や「特別昇班」をかけてレースに臨む選手達に光を当てるだけでも、十分に魅力的な商品になるのではないかと思います。本年7月27日時点でも、「S級への特別昇級」や「A級2班への特別昇班」がかかる選手がいますが、特段のPRはなされていない状況にあります。



<選手プロフィール:佐藤幸治選手>

期別:92期
年齢:29歳
府県:長崎県

○2007年にデビュー後、2009年7月にS級2班に昇級。

○2015年1月にA級1班に降級するも、7月27日現在、2場所連続で完全優勝中(全て1着)。

○S級2班への特別昇級をかけて、7月28日から開催される高松競輪(FⅡ戦)に出場。



<選手プロフィール:吉田拓矢選手>

期別:107期
年齢:20歳
府県:茨城県

○2015年にデビューした新人選手。競輪学校在学中に、記録会成績優秀者のみが獲得できる、「ゴールデンキャップ」※を獲得(史上12人目)。

※過去の獲得者には昨年の賞金王の武田豊樹選手など名選手が存在。

○デビュー後、2場所連続で完全優勝中。A級2班への特別昇班をかけて、8月9日から開催される取手競輪(FⅡ戦)に出場。

S級S班

S級1班

S級2班

A級1班

A級2班

A級3班

<特別昇級>

A級1・2班の選手が、3場所連続完全優勝(全て1着)になった場合などに、直ちにS級2班に昇班する制度。

<特別昇班>

A級3班の選手が、3場所連続完全優勝(全て1着)になった場合などに、直ちにA級2班に昇班する制度。

レースの種類 (上位からの順番)

G I
G II
G III
F I
F II